

各位

東京大学大学院教育学研究科附属
発達保育実践政策学センター

**保幼小接続についての意識および取り組みに関する調査
ご協力をお願い**

東京大学発達保育実践政策学センター（Cedep）では、凸版印刷株式会社との共同研究の一環として、保育・幼児教育と小学校とのスムーズな接続についての意識および取り組みについて、学術的に把握することを目的とした調査を実施しています。

昨今、保育・幼児教育から小学校へのスムーズな接続の議論や、5歳児を対象とした共通カリキュラムの策定の動きが始まるなど、保幼小接続がにわかに注目を集めています。

一方で、保護者や現場の保育・幼児教育施設における保幼小接続についての意識やニーズ、保幼小接続を意識した具体的な実践が家庭や施設でどれくらい行われているかについての知見は十分ではありません。

小学校へのスムーズな接続をどのように支えていけるのか、広く社会で考え議論していくため、根拠となる現場の先生方の声を集約し、学術的に把握したうえで社会に広く発信することが、非常に重要だと考えております。お一人でも多くの皆さまにご回答をお願いしますと幸いです。

※調査結果（速報値）は、2022年3月末を目途に、CedepのWEBページ（<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/>）に掲載します。

【調査実施者】 東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター

【調査責任者・担当者】 西田季里 同センター特任助教

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 E-mail: [kiri_nishida\[@\]p.u-tokyo.ac.jp](mailto:kiri_nishida[@]p.u-tokyo.ac.jp)

【調査目的】

保育・幼児教育の現場での、保幼小接続についての意識および取り組みについて、学術的に把握・検討することを目的としています。

【対象者】

- ① 保育・幼児教育施設の園長先生など保育・幼児教育施設の経営に関わる方
- ② 保育者・教諭など、保育に関わる役職の方

【調査回答用 URL】

① <園長など経営者向け> <https://forms.gle/8ZkAUgqv4UpNck9M9>

② <一般保育者・教諭向け> <https://forms.gle/dpCDYkNYEzPFs7wN7>

※上の URL にアクセスして、12月12日（日）までに回答してください。

※保育・幼児教育に携わる方々に本調査のことを知らせたり、SNS 等で発信したりしていただくことを歓迎いたします。

【調査の概要】

調査は、以下のパートから構成されています。

- I. 貴園および回答者の基礎情報について（園や個人を特定するような情報は収集されません）
- II. 保幼小接続についての理解や取り組みの有無について
- III. 就学に向けた園の保育・教育活動や取り組みの有無について
- IV. （園長など経営者対象の調査のみ）保幼小接続を意識したカリキュラムや年間計画、指導方法、記録・評価方法、小学校との情報共有、保護者への情報発信の有無や策定方法、課題意識について

【調査実施期間】

2021年11月下旬～12月12日（日） ※12月12日（日）までにご回答ください

【回答の任意性】

この研究にご協力いただくかどうかは任意であり、先生ご自身の自由意思にゆだねられています。途中で回答を止めることもできます。研究にご協力いただけないことで不利益につながることは一切ありません。

【個人情報の保護と情報の取り扱い】

- ・この調査は、園名やお名前を伺わない、匿名のアンケートによる調査です。個人を特定するような情報は収集されません。
- ・データは統計的に処理します。
- ・自由記述に関しても、ご記入いただいた内容から個人名が特定できないように、慎重に処理いたします。
- ・調査結果は、Cedep ウェブサイトに掲載するほか、学会や学術雑誌、および共同研究シンポジウムなどで発表いたします。

- ・データは研究成果の発表後も、Cedep において、少なくとも 10 年間は保存いたします。

【その他】

本調査は、東京大学倫理審査専門委員会において審査され、東京大学大学院教育学研究科長の承認を受けて実施しています。

ご意見、ご質問などございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

調査専用お問い合わせフォーム

<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/event/38006/>